

ワークシート

(さんまるミュージアム編)

特別史跡^{しせき}三内丸山遺跡は、縄文時代前期中頃～中期（約 5,500 ～ 4,000 年前）の大規模な集落跡で、縄文時代を代表する重要な遺跡です。さんまるミュージアムを見学して、三内丸山遺跡や縄文時代のことについて調べてみましょう。

見学コーナー

縄文人のころ



Q1 土器や土偶などについてどのように使用されたのか考えてみましょう。

A

海の恵み



Q2 出土した魚の骨から当時の人たちは何を食べていたと考えられますか。

A

森の恵み^{りょう} (猟の道具)



Q3 獲物を捕るためにはさまざまな道具が使われましたが、上の大きな石器と下の小さな石器はそれぞれ何という名前でしょう。またどのように使うものか考えてみましょう。

A

- ・大きな石器 ()
- ・小さな石器 ()

森の恵み



Q4 三内丸山遺跡の人たちは、さまざまな植物の実を食料としています。その中で多く利用したのは何でしょう。

A

地層の重なり



Q5 ^{もりど}盛土は大量の土器や石器、土偶やヒスイ製の玉などが土といっしょに埋められ、丘のようになった場所です。盛土の地層断面にはどのようなものが見られますか。観察してみましょう。



ヒント：
この黒く見えるのは？



この白く見えるのは？

A

えんとう ど き
円筒土器



Q6 下から上に向かって土器が古い形から新しい形へ変わっていくようすを示しています。どのように土器が変化しているのか観察してみましょう。

A

もり ど
盛土



Q7 盛土からはまつりに関連する道具も多く出土しています。どのようなものが出土していますか。

A

たてあな
竪穴住居



Q8 竪穴住居の中では家族が生活をしています。何をしているのか、観察してみましょう。

A

- ・お父さん ()
- ・お母さん ()
- ・おばあさん ()
- ・子ども ()

墓 (子どもの墓)



Q9 子どものお墓は土器を使っています。土器の中には何がいっしょに入れられることが多いですか。※その理由も考えてみよう。

A

広域なネットワーク



Q10 三内丸山遺跡には、日本の各地からさまざまなものが交易・交流によってもたらされています。その産地を書き出してみよう。

A

- ・こくようせき黒曜石 ()
- ・ヒスイ ()
- ・アスファルト ()
- ・コハク ()
- ・せきぶ石斧の素材 ()

印象に残ったことを書いてみよう。